

2022 年度 授業計画(シラバス)

| 学 科 | 理学療法士学科 | | 科 目 区 分 | 専門分野 | 授業の方法 | 講義演習 |
|---|-------------|-------------|---|-------------|------------------------|---------------|
| 科 目 名 | 運動器系理学療法学 I | | 必修/選択の別 | 必修 | 授業時数(単位数) | 30 (1) 時間(単位) |
| 対 象 学 年 | 2年 | | 学期及び曜時限 | 前期 | 教室名 | 302 他 |
| 担 当 教 員 | 太田 珠代 | 実務経験とその関連資格 | 小児系医療機関で、理学療法士として運動療法等を提供していた。協会活動においてスポーツ分野にも携わる。認定理学療法士(学校教育)を取得。 | | | |
| 《授業科目における学習内容》 | | | | | | |
| 骨折を主とした整形疾患に対する理学療法の適用に関する知識と技術を学び、問題解決能力を身につける。 | | | | | | |
| 《成績評価の方法と基準》 | | | | | | |
| 筆記試験(100%)で評価する | | | | | | |
| 《使用教材(教科書)及び参考図書》 | | | | | | |
| 理学療法テキスト 運動器障害理学療法学 I II(15レクチャーシリーズ) 標準整形外科学 第13版 配布資料 | | | | | | |
| 《授業外における学習方法》 | | | | | | |
| 教科書を用いて講義内容の予習・復習をする。 | | | | | | |
| 《履修に当たっての留意点》 | | | | | | |
| 教科書等の忘れ物がないように注意し、課題等は提出期限を厳守すること。 | | | | | | |
| 授業の方法 | 内 容 | | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 | |
| 第1回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨や筋などの再生・修復について説明することができる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 組織の再生・修復について | | | |
| 第2回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 組織の再生・修復における評価と治療について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 組織の再生・修復における評価と治療について | | | |
| 第3回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨折・脱臼・靭帯損傷について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 骨折・脱臼・靭帯損傷について | | | |
| 第4回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨折・脱臼・靭帯損傷における評価について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 骨折・脱臼・靭帯損傷における評価について | | | |
| 第5回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 骨折・脱臼・靭帯損傷における治療について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 | |
| | | 各コマにおける授業予定 | 骨折・脱臼・靭帯損傷における治療について | | | |

| 授業の方法 | | 内 容 | | 使用教材 | 授業以外での準備学習の具体的な内容 |
|-------|--------|-------------|-------------------------------|-------------|------------------------|
| 第6回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 上腕骨近位端骨折の評価について実践できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 上腕骨近位端骨折の評価について | | |
| 第7回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 上腕骨近位端骨折の治療について実践できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 上腕骨近位端骨折の治療について | | |
| 第8回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 橈骨遠位端骨折の評価について実践できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 橈骨遠位端骨折の評価について | | |
| 第9回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 橈骨遠位端骨折の治療について実践できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 橈骨遠位端骨折の治療について | | |
| 第10回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 鎖骨骨折の評価について実践できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 鎖骨骨折の評価について | | |
| 第11回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 鎖骨骨折の治療について実践できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 鎖骨骨折の治療について | | |
| 第12回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 脊椎の各骨折について概要や理学療法を説明することができる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 各論:脊椎骨折1 脊椎圧迫骨折の概要 | | |
| 第13回 | 講義形式 | 授業を通じての到達目標 | 脊椎圧迫骨折の病態について説明できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脊椎圧迫骨折の病態について | | |
| 第14回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 脊椎圧迫骨折の評価について実践できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脊椎圧迫骨折の評価について | | |
| 第15回 | 講義演習形式 | 授業を通じての到達目標 | 脊椎圧迫骨折の治療について実践できる。 | 教科書 配布資料 | 教科書等を用いて講義内容の箇所を読んでおく。 |
| | | 各コマにおける授業予定 | 脊椎圧迫骨折の治療について | | |